

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シスメックス新診断薬拠点	階数	地上6F
建設地	神戸市西区高塚台4丁目3番地2	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	270人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,800時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2017年12月1日
敷地面積	29,378 m ²	作成者	竹中工務店
建築面積	11,491 m ²	確認日	
延床面積	41,508 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 CASBEE神戸の重要項目		
<h4>バリアフリー計画</h4> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>4.0</p>	<h4>建築物の耐震性等</h4> <p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>5.0</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>4.0</p>	<h4>まちなみ・景観への配慮</h4> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>4.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>[Q-2 1.1.3 バリアフリー計画] バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている</p>	<p>配慮の概要</p> <p>[Q-2 2.1 耐震・免震・制震・制振] ・免震構造の採用及び、重要機器・資料を守る。床上免震構造を採用している。 [Q-2 信頼性] ・非常用発電機を設置して電源のバックアップを計画している。防災や事業計画で重要な系統に非常機回路を設置。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>・風景をつなぎ、人とモノをつなぎ、緑をつなぐをコンセプトに、隣接するテクノパーク、西神工場、高塚山公園の連続性に配慮した計画としている。 ・上記の連続性は、建物が幹線道路から大きくセットバックされ、前面に大きな緑地を配置しており、地域の街並みや景観に配慮している。</p>
<p>その他の配慮事項</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される